

今月の御教え

夫婦は他人の寄り合いである。仲よくすれば一代安心に暮らせる。夫婦げんかをして、後から心が折れ合う時、よく考えてみるとわけがわかる。この事柄を自分で分かるといふことは、神からお与えくだされた御霊が、体の司だからである。

……「天地は語る」第四十七条……

解説 世間では一般的に「夫婦は一体」などと言われますが、その様な都合の良い言葉

に甘んじていると、その先必ず、夫婦間の考え違い、行き違いに対処できず、口論に終始し、不信感に苛まれることになるのです。

教祖様の「夫婦は他人の寄り合いである」とのお言葉は、一見、冷徹な言い方に聞こえますが「他人であるからこそ、お互いが甘えを捨てて、相手を慮る事の大切さ」を教えて下さっているのです。又、お互い言い争っても、後で冷静になった時「言い過ぎたかな」と自分自身を振り返ることが出来るのは、私達が「神様の御分霊を頂いている」からだと言っています。正に私達は神様の別け御霊を頂いてこの世に生まれてきた神様の氏子であります。故に、私達信奉者一同は、天地の親神様の氏子として、その御思いに沿った生き方が出来るよう一層信心の稽古に励みたいものであります。